

甲斐先生と学ぼう！

★NIEは、Newspaper in Education (教育に新聞を)の略です

レッツ チャレンジ NIE



第168回

今週の
お題

記事から
考えよう！
レベル★★★ (高学年)

日が落ちるのが早くなって、秋も深まってきたね。みんなはどんな秋を過ごしているかな？ 今回はグラフを使った問題だよ。記事とグラフから読み解いてみよう。



[1] 見出しに入る言葉を書きましょう。()

[2] 出生率とは「合計特殊出生率」のことですが、どのような意味ですか？ 記事から抜き出して答えましょう。

[3] 出生率が全国1位となっているのは()
どの都道府県ですか？

[4] グラフでの出生数のピークはいつですか？
また、グラフのこれまでの変化から出生数は今後どうなると予想されますか？

ピーク()年
今後の予想

()

[5] 出生数をあげるためには、どうすればいいと思いますか？
あなたの考えを書いてみましょう。

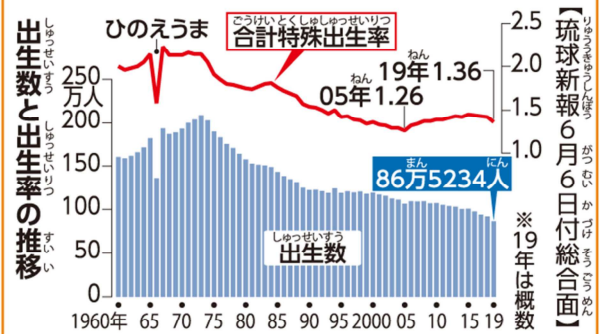
()

●●●最少86万5234人 / 19年人口統計 沖縄出生率1.82 全国一

2019年生まれの赤ちゃんの数(出生数)は統計開始以来最少の86万5234人だったことが6月5日、厚生労働省の人口動態統計(概数)で分かりました。前年比5万3166人減で、90万人割れは初。女性1人が生涯に産む子どもの推定人数「合計特殊出生率」は1.36で、前年から0.06ポイント低下しました。死亡数は138万1098人で戦後最多。出生数から死亡数を引いた人口の自然減は51万5864人で、過去最大の減少幅でした。沖縄県は出生数が1万4902人、死亡数が1万2509人でした。

政府は5月に決定した第4次少子化社会対策大綱で「希望出生率1.8」を目標に掲げました。不妊治療にかかる費用負担の軽減などを提言していますが、子育て環境などの整備に、さらなる支援が急務となります。

都道府県ごとの合計特殊出生率を高い順で見ると、沖縄1.82、次いで宮崎1.73、島根1.68。低い順では東京1.15で、宮城1.23、北海道1.24でした。出生数が死亡数を上回ったのは沖縄だけでした。



[1] は、赤ちゃんの数のこと。記事の中にも出てくるよ。[2] は、「合計特殊出生率」という言葉を探してみると分かるよ。ピッタリ18字で入れてみよう。[3] は、知っている人も多いかな。見出しに注目してみて。[4] は、グラフをよく見て答えよう。出生数は年々どのようになっているかな？ [5] は、2段落目にある政府の対策を踏まえて、赤ちゃんが増えるための解決策を考えてみよう。



✂ 切り取ってノートに貼れるよ。挑戦してね！

かい・たかし
NIEアドバイザー、西原町教育委員会指導主事